

世界最大の貨幣は何？

現 在知られている貨幣の中で最も大きいものは、西太平洋のヤップ島において、結婚式等の特別な儀式や不動産売買等で使われている「フェイ」という石貨（円形ないしは長円形）です。

「フ ェイ」は、ヤップ島から400 km以上離れたパラオ島で切り出し、カヌーで運んできたもので、大きいものでは直径が3.6 mに達すると言われています（写真は日本銀行金融研究所貨幣博物館所蔵の「フェイ」で、長径が87 cm、重さは推定約100 kgあります）。こうした大型の「フェイ」の真ん中には穴があいており、棒を差し込んで2人で持ち運びができるようになっています（もちろん、直径が数10 cmで持ち歩けるものもあります）。

も っとも、大型の「フェイ」については、所有権を移転させる場合も、実際に「フェイ」そのものを移動させることは稀であると言われています。これは、大型の「フェイ」が非常に重く簡単には動かせ

ないことに加え、ヤップ島の生活が穏やかで、誰も他人のお金を持っていくとはしないためと言われています。

な お、現在、ヤップ島で日常的に使用されている通貨は米ドルであり、このため、新たに石灰岩を切り出して「フェイ」を製造することはないそうです。



コラム

日本で最大の貨幣は？

てんしょうながおおぼん
「天正長大判」と呼ばれる金貨です。

これは、豊臣秀吉が彫金師の後藤徳乗ごとうとくじょうらに命じて、天正16年(1588年)から造らせた大型の金貨の1つで、長径が約17 cm、短径は約10 cmあります。この大判は、日常取引用のいわゆる通貨としてではなく、恩賞用など特殊な目的に用いられることが多かったようです。

なお、大判の表面には「拾両」および「後藤」の文字と「花押」(様式化された自筆の判)が墨書きされています。ちなみに、「拾両」というのは額面金額ではなく、重さが約165 gであることを示しています。

